

# Direct-Information of Orienteering in Nippon

(公社) 日本オリエンテーリング協会 理事会・事務局便り

第 35 号 (2022 年 10 月 14 日発行)



全日本大会(ミドル・ロング)に多数のご参加をいただき、ありがとうございました。貴重かつ手ごたえのある富士山麓の地形を堪能していただけたことかと思います。来年度は千葉県での開催となります。

## 本号の内容

- ・利益相反ポリシーについて
- ・新制度コーチ講習会開催される
- ・全日本大会報告
- ・MTBO 世界選手権、マスターズ世界選手権、ワールドカップ等報告
- ・今後の公認大会・講習会のお知らせ

### ●利益相反ポリシーについて (副会長 愛場)

この度 JOA では、「利益相反ポリシー」を策定いたしました。公益法人であるスポーツ競技団体の信頼性を確保するためには、営利法人である企業や個人事業主及び関連する団体・個人等との関わりについて適正に対応する必要があります。そこで、JOA の役職員等が利益相反の取引及び行為を理解し、適正に対応するために、基本的な考え方を示すことにしたもので、スポーツ庁のガバナンスコードにおいてもその制定が求められています。

このポリシーの対象者は、JOA の役員、委員、職員および指導者になります。対象者が直接または間接的に JOA と利益の相反する行為をすることは原則として禁止されます。これには経済的な行為だけではなく、例えば役職員等がその影響力を行使して、代表選手選考にかかわる場合などもあります。

ただし、利益相反に該当する取引は絶対に行ってはいけなく、例えば要求される業務がその人以外ではできないなどのやむを得ない場合には、しかるべき手続きを踏んで許容されることがあります。その場合には、理事会に当該取引について重要な事実を開示し、その承認を受けなければならないこと、取引の妥当性を判断する際に取引の公正性を示す証憑などを保管すること、理事が利益相反行為の対象となる場合には該当者は決議に参加できないこと、などが定められています。

行おうとしている取引などが利益相反に該当するのかがわかりにくい場合もありますが、利益相反相談窓口を事務局に設けることとなりますので、ご相談ください。適正性の判断基準は、当該行為を行う以外に他の手段がない、あるいは他の行為より JOA の利益に資する取引であること、JOA の利益を損ねないこと、になります。

また役職員等は、利益相反の防止と対応のため、法人の役職を兼業する場合や利害関係者に対して設備や物品の供与、購入、賃借をする場合などは、積極的に自己申告をしていただく必要があります。利益相反の実態があり、それが公になったりした場合には、JOA 及びオリエンテーリングというスポーツ自体に悪い印象を持たれ、今後の発展にも影響する可能性がありますのでご留意をお願いいたします。

※令和 4 年 11 月 16 日(水) 21:00~22:00 にオンライン(Zoom)にて研修会を行います。

詳細は下記よりご覧ください。

<https://www.orienteering.or.jp/archives/20221011-2/>

### ●新制度コーチ講習会開催される (業務執行理事 村越)

昨年にスタートしたコーチ制度の講習会が、今年もコーチ 1、コーチ 2 の 2 段階でそれぞれ実施されました。特にコーチ 1 では、ディレクターからの移行ではない新規取得者の講習も今年初めて実施されました。なお、コーチ 1 については 1 月 8 日にも関西地区で実施予定です。

講習では事前のオンラインによる双方向の講習を4時間実施した後、9月18-19の両日に静岡県立朝霧野外活動センターで泊まりがけの講習が実施されました。日本を代表するオリエンテーリング指導者である講師から、アクティブラーニングによる実践的な内容の講義+演習を行いました。荒天には見舞われましたが、臨機応変に内容を変更したこともよい学びになったようです。



受講者の声を紹介します。「グループワークが多く取り入れられ、より実践的な展開を想像しながら選手側、コーチ側の双方を体験しました。講師の方々もグループに入り、選手の良さや躓きに対する声かけについてのフィードバックをいただき、更なる気付きを得ました。座学では、基礎から「オリエンテーリング」を学び、改めて競技としての面白さを感じました。受講後も、選手が安全に楽しく競技に取り組むための導き方を、引き続き考えていきたいと思っています。」

### ●全日本大会報告

2022年10月8日・9日に、全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ロングディスタンス競技部門)が山梨県鳴沢村で開催されました。富士山麓の礫地を含み難易度の高いコースを、1000名を超える参加者が駆け抜けました。

#### 第11回全日本オリエンテーリング選手権大会(ミドル・ディスタンス競技部門)

##### W21E

1位	阿部 悠	49:46
2位	稲毛 日菜子	51:29
3位	近藤 花保	54:18
4位	増澤 すず	55:59
5位	山根 萌加	56:31
6位	伊部 琴美	58:12

##### M21E

1位	小牧 弘季	47:31
2位	永山 遼真	50:24
3位	伊藤 樹	51:33
4位	谷川 友太	51:53
5位	南河 駿	53:13
6位	新田見 優輝	54:33



##### W20E

1位	山本 美沙	39:29
2位	牧 依瑠香	44:43
3位	宮川 葵衣	48:26
4位	坂池 なつほ	54:56
5位	桑原 唯歩	57:54
6位	田切 香帆	1:07:39

##### M20E

1位	森 創之介	33:25
2位	早川 正真	37:16
3位	谷口 瑞樹	37:17
4位	市川 礼人	37:19
5位	川崎 陽暉	40:00
6位	高田 朋輝	41:04



M21E、W20E 入賞者の皆さん

#### 第49回全日本オリエンテーリング選手権大会(ロング・ディスタンス競技部門)

##### W21E

1位	稲毛 日菜子	1:16:57
2位	皆川 美紀子	1:26:47
3位	増澤 すず	1:32:02
4位	宮本 和奏	1:32:59
5位	阿部 悠	1:33:44
6位	樋口 佳那	1:35:18

##### M21E

1位	伊藤 樹	1:37:12
2位	朝間 玲羽	1:43:09
3位	小牧 弘季	1:44:03
4位	永山 遼真	1:45:46
5位	平岡 丈	1:46:37
6位	谷川 友太	1:48:54



##### W20E

1位	坂池 なつほ	1:27:50
2位	宮川 葵衣	1:33:06
3位	桑原 唯歩	1:39:19
4位	田谷 夏姫	1:46:12
5位	藤澤 ゆい	1:47:34
6位	山本 美沙	1:50:50

##### M20E

1位	森 創之介	1:24:37
2位	早川 正真	1:34:52
3位	栗田 稜也	1:35:50
4位	三井 健世	1:39:56
5位	石原 潮人	1:41:58
6位	市川 礼人	1:45:51



W21E、M20E 入賞者の皆さん



## ●MTBO 世界選手権、マスターズ世界選手権、ワールドカップ等報告 (MTBO Japan 羽鳥)

以下、成績、準備、U23 選手派遣、評価、国内の反応、5 点について報告する。

### 1. 成績

羽鳥のスプリント準優勝、ミドル、ロング5位、落車棄権となったがマスも中盤までトップ等、50 歳以上(M55)マスターズカテゴリで世界屈指の実力を見せた。(IOF メダル計 金 1、銀 3)

樋口は、6位2回とテクニカルなエリアでの好成績を見せた。

大類は、29位ワールドカップポイント獲得等、実力の向上を見せた。

### マスターズ世界選手権、ジュニア世界選手権、ワールドカップ (ブルガリア 9/14-18)

羽鳥 : スプリント2位表彰台 (IOFメダル4枚目獲得)

樋口 : スプリント6位、マスタートート6位

大類 : ロング29位 ワールドカップポイント獲得



### 2. 準備

MTBO Japan チームは、4月6日～10月2日で、MTBO 練習 26 日(主に合宿練習)、海外練習とレース 19 日、ライドトレーニング 13 日で実練習とレース 58 日、Zwift ミートアップ開催回数 107 回を開催、合計 165 日開催している。さらに加え、個人トレーニングは各自で実施し、合宿開催はシーズンほぼ毎週という状態で積極的なトレーニング機会を積んでいる。多くは新しい地図コースを用い技術向上につとめており、今回山梨県石和での直前 4 日スプリント練習は課題であった MTBO のスプリントレベルと練習の工夫が成功した例でもある。

### 3. U23 派遣

7月の世界選手権では高校生の綾野選手を U20 で、U23 には大学自転車ロード競技界でも日本トップクラス(インカレ 4 位)の順天堂大学 阿部花梨選手を選手として派遣した。両者は自転車の力は折り紙付きであり、阿部選手はオリエンテーリングの実力は十分ではなかったが各国選手からも注目を集め、日本 MTBO のプレゼンス向上に大変に寄与している。若手の MTBO への参画は、MTBO が毎年のビラ配布や選手の活躍、練習イベントへの参加を通して各種自転車競技イベントでもかなり知れ渡るようになった結果である。

### 世界選手権、ジュニア世界選手権 (スウェーデン、7/14-20)

嶋岡 : スプリント46位、マスタートート45位

羽鳥 : ロング49位



### 4. 評価

話題として、今回 MTBO M55 で 4 種目制覇偉業を成し遂げたリトアニア Ambrazas 選手は、元フットのトップオリエンティアである。マスターズでは、フット、スキー、MTBO すべてで優勝をした世界でも例を見ないチャンピオンアスリートである。彼がトップ指標となることから明らかになるように、MTBO はフットで優勝することと同じレベル高さ困難さを持つ上に、メジャー競技である MTB 各国ナショナル選手権で勝てるだけの脚力実力を有しなければ(ざっと M50、55 だけでも 10 名程がナショナル選手権ポディウム)、とてもマスターズ表彰台に届かない。羽鳥は世界選手権 50 位以内実力を有し、最もマスターズ選手間でも IOF 関係者にも最も有名な選手の一人であり、MTBO Japan チームはエリートでも、マスターズでも十分なプレゼンスを持つことが再確認された。

### 5. 国内の反応

2つの海外遠征で関連する Facebook での記事は 50 いいね 5000 を超える注目をオリエンテーリング界、自転車競技界より得た。今後も一層競技にしっかりと臨む所存である。

クラブカップリレー時にも多くの嬉しい反響を頂いた。一方で残念に感じたのは、羽鳥は霧ヶ峰周辺2日計 10h ライド(実走 7.5h 獲得 3800m)【軽め】トレーニングを実施したが、私のトレーニング量をオリエンティアは聞いて一様に(考えられないくらい多いと)驚いていたことである。

同じく(普段トップアスリートに接している)自転車選手が聞けば、「ふつう」「羽鳥レベルなら1日で走っても全

然驚かない」反応が返る。フットオリエンテーリング界には、世界で戦うレベルを意識し、トレーニングを当然のように自分に課し日本スポーツ界に通用するアスリートが過去も現在もない。エリートであっても、マスターズレベルも、他の競技スポーツでは当然たくさんいる真剣に競技に向き合うアスリートが、全く誰もいないことに皆気づいてない。

オリエンテーリング競技関係者の(他競技スポーツと比して大変見劣りする)競技への意識向上と、MTBOへのより一層の支援を期待する。

●今後の公認大会・講習会のお知らせ

2022年

10月30日 富岡スプリント大会[公認S] (福島県)

12月17・18日 インストラクタ養成講習会 (徳島県)

2023年

1月14・15日 インストラクタ養成講習会(日本学連主催) (栃木県)

2月5日 全日本リレー大会 (栃木県)

11月4日 第12回全日本大会(ミドル・ディスタンス競技部門) (千葉県)

11月5日 第50回全日本大会(ロング・ディスタンス競技部門) (千葉県)

以上